

《趣旨》御嶽山は噴火警戒レベル1で火山活動は静穏な状態だが、火口から概ね1km範囲内は必要な安全対策が整うまで立入規制を継続中。
御嶽山が再び安全に登れる山となることを目指し、立入規制解除に向け、概ね2020年度を目途に地元町村と長野県が安全対策を計画的に推進する。

基本方針

- ◎ハード・ソフト両面の安全対策を実施し、平成26年の噴火災害時よりも安全性を向上させる。
- ◎必要な安全対策が整った範囲から規制を解除（緩和）する。
- ◎火山活動に関する正確な情報発信・伝達を行う。

ハード対策

ポ
安全
イン
ト
対策

- 火山活動の変化を的確に検知し、迅速に登山者等に伝達できる
- 予測不能な突発的噴火の際、避難できる施設が整備されている
- 噴火警報発表時、噴火時に登山者等が安全・迅速に退避できる

ソフト対策

《剣ヶ峰及び黒沢口登山道（二ノ池～剣ヶ峰）エリア》 ※火口から概ね1km範囲

区分	実施主体	H29	H30	H31	2020年度以降
避難施設	御嶽頂上山荘	解体撤去	シェルター整備		
	御嶽剣ヶ峰山荘	調査・(施設取得)	危険防止(一部撤去)	解体・避難施設整備	
	二ノ池本館	改築(アライト補強)			
	神社施設	解体撤去	(祈禱所再建) ※アライト補強支援し緊急時避難施設にする	(社務所改修)	
避難路(登山道補修)	木曾町	二ノ池～剣ヶ峰			
情報伝達設備	木曾町		屋外スピーカー等設置	同報系防災無線整備	
		携帯電話不感調査	携帯電話不感対策(設計、基地局整備)		

【☆印】ハード・ソフト対策実施⇒規制解除①(二ノ池～剣ヶ峰)

登山指導所設置☆[H30]◆[H31]
火山活動・規制等情報提供
登山計画書・安全装備確認

パトロール隊の配置拡充☆[H30]◆[H31]
火山活動監視、登山者滞留防止指導

注意喚起標識の設置☆[H30]◆[H30,31]
規制解除(緩和)エリア内

情報伝達手段確保☆[H30]◆[H31]
山頂登山者等への警報等伝達ルート確立

異変検知時対処方針確立☆[H30]◆[H30]
警戒レベル2未満の異変検知時の規制、退避誘導等の対処方針

避難計画等整備☆[H30]◆[H30,31]
避難誘導マニュアル・訓練、避難促進施設指定、避難確保計画策定支援

《王滝頂上及び王滝口登山道（9合目～王滝頂上～剣ヶ峰）エリア》 ※火口から概ね1km範囲

区分	実施主体	H29	H30	H31	2020年度以降
避難施設	パトロール待機所		設置(9合目)		
	王滝頂上山荘		設計	避難施設に改修	
	シェルター			設置(八丁ダルミ)	
避難路(登山道補修)	王滝村	9合目～王滝頂上		王滝頂上～剣ヶ峰	
					二ノ池トラス
情報伝達設備	王滝村		防災無線スピーカー増設		
					携帯電話不感対策

【◆印】ハード・ソフト対策実施⇒規制解除②(9合目～王滝頂上)

【◇印】ハード対策実施⇒規制解除③(王滝頂上～剣ヶ峰)

情報発信、防災啓発・教育(平常時)

- ・火山活動、規制情報等リアルタイムの情報提供、御嶽山の魅力発信
- ・御嶽山火山マイスター養成、防災教育
- ・御嶽山ビジターセンター(仮)整備